

# 倉敷市児島・下津井のまちづくりと観光を考えるラボ ～塩結びプロジェクト～

## ラボで解決に取り組んだ課題

児島への観光客増加を目指し、  
地域の魅力を広く発信して活性化を図る。

## 連携先

- ・ 下津井電鉄株式会社
- ・ 合資会社ガラクタス



## 活動のあらましについて

### ① 倉敷市児島・下津井について知る

児島・下津井について



※SWOT分析とは、S(強み)、W(弱み)、O(機会)、T(脅威)の4個の項目に分けて、分析すること。

### ☆販売までの流れ

- ① 学生側が企画書を提出
- ② 企業側が試作を作る
- ③ 試食会、意見の共有
- ④ 完成品の試食
- ⑤ 商品名の決定とポスターの作成
- ⑥ 販売

### ② 商品企画

「塩結びプロジェクト（下津井電鉄）」から  
インスピレーション受け、「野崎家の塩」を使用した  
「塩パン」と、地域の食材(連島ごぼう)を用いた  
「鶏塩煮麺」を企画し、実際に販売した。



### ～しおざえもんと ごろっとミネストローネ～

#### ○こだわりポイント

- ・ 野崎家の塩を使った塩パンの製造
- ・ しおざえもんの焼き印をつけることで児島らしさを演出
- ・ 食べやすいようスティック型のパン
- ・ ベーコンやチーズなど様々な具材を使用

⇒見た目のインパクトだけでなく、  
味にもこだわる！  
1食の栄養と満足度の向上



### ～連島ごぼう香る鶏塩煮麺～

#### ○こだわりポイント

- ・ ガラクタスさんの塩ラーメンスープを利用
- ・ 連島ごぼうを利用することで風味を向上させる
- ・ 「塩結びプロジェクト」商品の「倉敷塩綿麺」を使用
- ・ 大き目の炙った鶏肉が良いアクセントになる

⇒地域の食材を使うことで、  
地域活性化を意識



#### ◎注力したこと

1. 倉敷（児島）の食材の魅力を引き出すこと...今回の企画では「野崎家の塩」「連島ごぼう」を使用
2. 連携先企業との取り組み...学生側と企業側で意見のすり合わせ
3. 商品企画の具体化...倉敷の食材のブランド力を向上させ、まちづくりにつなげる
4. ボートレース場での販売に向けての商品名・ポスターの作成...商品の魅力が伝わるレイアウトに

## 1年間の活動の総括・成果について

試作と改善を重ねて商品を開発し、2026年1月11日に児島ボートレース場にて各20食の  
限定販売を実施した。当日はポスターを用いた対面での販促活動を行い、**約3時間で全  
商品を完売**させ、来場者への認知拡大と地域活性化に貢献した。



担当教員：鷲見哲男、藤原美佳 所属学生19名  
ポスター制作 近藤貫太、佐伯岳、塩田菜々美、友野健太郎、西井悠人、  
日野山咲希、宮崎佳奈、山本一晟

# 倉敷市児島・下津井のまちづくりと観光を考えるラボ ～ジーンズファクトリーツアー～

## お世話になった連携先団体など

- ・(株)アシッドハウス ・(株)シェイヴ ・(株)INAHO ・備南染工(株) ・児島商工会議所
- ・児島産業振興センター ・倉敷市市役所(労働雇用政策課、まちづくり推進課)

## ラボで解決に取り組んだ課題

ジーンズが高価格である理由を理解してもらうため、完成までの製造工程を見学できるツアーを企画する。

## 活動のあらましについて

- ① ジーンズストリートの現状と課題を調査し、株式会社アシッドハウスの長尾氏へのヒアリングを通じて、ジーンズの製造プロセスおよび各工場の役割について情報を収集した。
- ② 児島にジーンズ関連工場が密集しているという地域特性を踏まえ、実地での工場見学を行った上で、製造工程を組み込んだツアーの立案に至った。

### 株式会社INAHO

- ・幅広い縫製を行っている
- ・積極的にITを取り入れ、生産を効率化している



### 株式会社シェイヴ

- ・生のデニムから加工している
- ・手作業で高い技術を提供している



### 備南染工株式会社

- ・洗い・手作業を大事にしている
- ・作業が丁寧で早いのが強み



### 株式会社アシッドハウス

- ・自社で縫製、検品している
- ・10回インディゴ染めしているのが強み



## 1年間の活動の総括・成果について

**良**

- ・ジーンズ製造工程に沿った工場巡回で理解しやすい
- ・工程重複を避けている
- ・児島内で完結するルート設計

**改**

- ・移動・進行管理の改善
- ・ストーリー性の導入がほしい
- ・企業ごとの強みの明確化
- ・参加者の事前知識レベルに応じた資料準備

事業化に向けた提案として、BtoB市場への転換を図り、企業の報奨旅行（インセンティブツアー）や学会等のアフターコンベンションプログラムといったMICE市場で展開する案を挙げた。また、資金調達的手段として、ジーンズストリート関連企業からの協賛や補助金を活用する方針も提示した。今後の課題としては、ツアーに参加できない層へ魅力を発信する方法の検討や、工場における働き手確保に焦点を当てた新たなツアーの企画が挙げられる。

担当教員： 鷲見哲男、藤原美佳  
所属学生19名、ポスター制作 依田夏綺、石岡晴翔、山新温人、山本創太

# 倉敷市児島・下津井のまちづくりと観光を考えるラボ ～風の道快適化プロジェクト～

## お世話になった連携先団体など

児島産業復興センター、下津井電鉄株式会社、児島商工会議所、倉敷市役所、

## ラボで解決に取り組んだ課題

「風の道」を地域住民から国内外の訪問者まで誰もが快適に利用できる空間にすることを目指した。

## 活動のあらましについて

風の道とは、

- ・倉敷市児島にあるサイクリング・散策コース
- ・旧下津井電鉄の路線跡を活用した道
- ・全長約6.3km(旧児島駅～旧下津井駅)

私たちは、風の道についてあまり詳しくなかったので現地調査を行いました。現地調査の結果、風の道の物理的環境にはいくつかの課題が確認されました。

### 課題

- ・道幅や舗装状態の不均一、ぬかるみや凸凹、草の繁茂など、サイクリングロードの整備状況は不十分です。
- ・一般道への接続箇所では案内が少なく、初めての利用者は迷いやすいと思いました。蜘蛛の巣も多く、快適性を損ねています。
- ・休憩環境もベンチや日陰が少なく、長距離利用者には不向きです。
- ・照明設備も不足し、早朝や夕方以降は安全面が懸念されます。
- ・案内面でもトイレやフォトスポット、周辺施設の位置を示す地図の整備不足や、案内看板の老朽化が問題です。

### 解決案

- ・環境整備のため、道路舗装や植生管理の強化、案内サインの拡充による安全で分かりやすい移動ルートの整備を行う。
- ・休憩スポットの増設、トイレや水分補給場所の明示、夜間照明の強化で休憩面の充実を図る。
- ・多様なレンタサイクル(2人乗り、子ども用、ユニークな自転車など)を導入し、家族連れや体験型観光に対応する。
- ・帰り道のルートは、坂道や交通量が多い現状を見直し、往路は「風の道」、復路は下津井の歴史ある街並みや漁港、海の景観を楽しめる安全なルートを提案。交通量が少なく走行しやすい上に、地域の魅力を体感できる構成とし、観光を兼ねた安心・快適な帰り道を提供する。

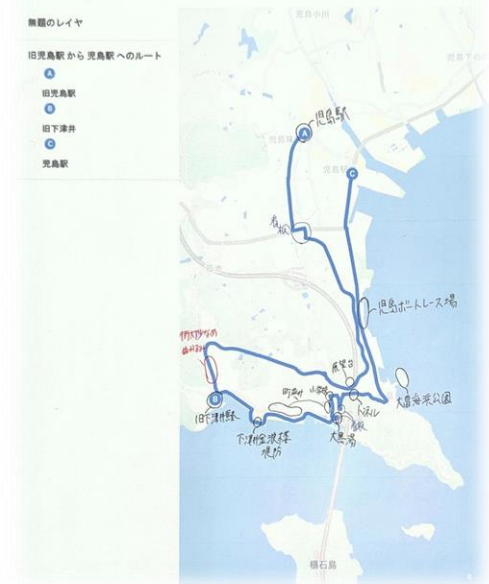
## 1年間の活動の総括・成果について

風の道を単なる「通過する道」から、「滞在と交流を生み出す場」へと進化させていきたいと考える。本取り組みについては、関係者の方々に発表し、企画書を提出した。



図① 風の道

## サイクリングロード



図② 帰り道案



風の道快適化  
プロジェクト企画書

担当教員： 鷲見 哲男、藤原美佳  
所属学生19名、ポスター制作：平賀、三宅、堤、ヒロシ

# 倉敷市児島・下津井の観光とまちづくりを考えるラボ ～TTPプロジェクト～

## お世話になった連携先団体など

・高田織物株式会社、高梁市役所観光課、児島産業復興センター

## ラボで解決に取り組んだ課題

地場産業である畳縁を活用した企画を検討する上で、畳と畳縁を使ったアートに視点を置き、様々な場所でのフィールドワークを通じて、児島・下津井ならではの新たな観光施策案を提案する。

## 活動のあらましについて

場所	感想（・良かった点、・悪かった点）
瀬戸内国際芸術祭（宇野港エリア）10月24日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・店ごとに違う特色を持ったお店が多い</li> <li>・地域の環境を意識した町づくりがされている</li> </ul>
吹屋ふるさと村 11月9日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古民家を持つ特色（居住性、特徴ある外観など）を生かした活用がされていた</li> <li>・グリーンスローモビリティを用いた、観光客の移動が行われていた</li> </ul>
豊島（豊島美術館、島キッチン）11月15日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美術館内は静かにするように徹底されていた</li> <li>・外国人観光客が多かった</li> </ul>
児島 12月14日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二次交通の手段が少ない</li> <li>・駅周辺に店が少ない</li> <li>・お土産コーナーが分かりにくい</li> </ul>
下津井・鷺羽山 12月14日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光客は回船間周りに訪れていることが多く、観光面での回遊性に課題があった</li> <li>・移動手段が限られている</li> <li>・景色がきれい（展望台、レストハウスから）</li> </ul>

①古民家	②グリーンスローモビリティ	③アート
------	---------------	------



②その結果を基に、新たな3つの企画を立案した。

### 企画1：古民家

企画1では、4つの案を考案し、その中でも特に廃校となる小学校を活用した「何もしない家」に注力した。有効活用がなされていない空間を利用し、地域貢献に寄与する企画としてまとめた。

### 企画2：グリーンスローモビリティ

企画2では、地域の課題である二次交通の不足を改善する施策を提案した。新たな移動手段としてグリーンスローモビリティ（グリスロ）を導入するだけでなく、車体のデザインやシートに特産品の畳縁を使用することで、地場産業の宣伝効果も生み出せるようにした。

### 企画3：アート

企画3では、観光における回遊性の向上を目的とし、下津井に「常に変化がある状態」を創り出すことで、観光客増加を目指すため企画を作成した。町全体でのアートの発信や活用にとどまらず、作家の定住促進にも繋がる構成としている。

①宇野港エリア、吹屋ふるさと村、豊島、児島・下津井エリアの計4ヶ所でフィールドワークを実施し、児島・下津井の観光における成功要因と課題をそれぞれ検討した。



## 1年間の活動の総括・成果について

児島・下津井が抱える課題に対し、宇野港エリア（瀬戸内国際芸術祭）、吹屋ふるさと村、豊島（豊島美術館、島キッチン）、および児島、下津井・鷺羽山でのフィールドワークを通じて情報収集を行った。実地調査で得た知見を基に企画を立案し、プレゼンテーション資料を作成して、関係者の方々に発表した。

担当教員：鷺見哲男、藤原美佳  
所属学生19名、ポスター制作 廻零、安田凌、山本裕己